

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備・維持補修又は維持運営等措置	町道川嶽線舗装工事	芦北町	4,400,000	4,400,000	総事業費 4,644,000

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備・維持補修又は維持運営等措置	町道川嶽線舗装工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		芦北町		
交付金事業実施場所		芦北町大字海路		
交付金事業の概要		<p>町道川嶽線は周辺住民の生活道路として機能しているが、経年劣化による老朽化が進み、段差、亀裂、水たまりが生じています。住民の健康で豊かな生活の確保のみならず地域内や地域間交流等の経済活動の促進、観光地として安全確保のために、平成24年度から平成32年度にかけて町道川嶽線の改良を進めています。今年度は舗装工事延長380mの道路工事に交付金を充当します。</p> <p>施工延長 L=380.0m As舗装 A=1150.0m²</p>		
総事業費		4,644,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	4,400,000 4,400,000
交付金事業の成果目標		町民の生活のみならず経済活動や観光面においても重要な役割を担っている町道川嶽線を舗装工事することによって、地域住民の交通安全の確保や経済活動の促進、観光客の安全安心の確保を図り、住民及び観光客の利便性かつ福祉の向上を目指します。		
交付金事業の成果指標		平成24年度から平成32年度までに2.5kmを整備する計画です。 平成29年度は380m、全体の15%を施工する計画です。		
交付金事業の成果及び評価		総延長2.5kmの舗装工事計画に基づき、平成29年度は380mを整備し進捗率は73%となりました。本道は、地域住民の生活道路、通勤道路、ダムの管理道路として利用されており、当該舗装工事により交通安全が確保できたため、本事業は必要不可欠な事業と評価しています。 (利用台数100台/日)		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
道路整備		指名競争入札	株式会社 松下組	4,644,000
		計		
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	平成35年度